

令和六年度北海道神宮例大祭

場所 北海道神宮境内神前舞台
日時 令和六年六月十五日（土）

午後一時四十分～午三時二十分まで

第四十三回
奉納

古武道演武

主催 北海道古武道協会

一、無外流居合兵道（辻 月丹）

（十分）

無外流は元禄六年（一六九三年）に流祖・辻月丹（つじげつたん）が創始した剣術・居合の流派です。現在では池波正太郎の小説『剣客商売』で、主人公の秋山小兵衛・大治郎父子。また、黒澤明の映画『雨あがる』の主人公の三沢伊兵衛が無外流の達人という設定になっています。当会は「実戦居合」としての「斬れる居合」を追及しています。

演武内容 居合、組太刀、

演武者

高橋 宏明

平郡 聖士

菅野 政克

白根 志庵

茂垣 之弘

二、大東流合気武道（新羅三郎源義光）

（十五分）

古くは源家に伝わる兵法で後に甲斐源氏、武田家から会津藩へと伝わった。会津藩では、これを「御式内」と定め、上級武士の御殿術として藩外不出の武道として継承されて来た。明治以後、武田惣角により初めて公開された。武田惣角の子息、武田時宗に伝わり今日に到る。

演武者

木村 芳信

小山 潤一

薩摩 英雄

木村 信雄

グレッグ・ブリニエル

清水川

葛西 秀章

小山 真希

酒井 美佳

左藤 教仁

三、一刀流 剣術（流祖 伊藤一刀斎景久）

（十分）

徳川時代、將軍家の兵法指南として柳生家と双壁をなす小野家に代々伝承された一刀流は津輕藩でも大いに藩士に振興され、明治になり笹森家に伝わることとなった。第十七代宗家 笹森建美氏、現宗家は第十八代 矢吹祐二氏。

演武者

田所 幸七

松岡 耕毅

大黒 善夫

篠原 幸彦

グレッグ・ブリニエル

谷島 哲男

五、大東流合気柔術（堀川幸道伝）

（十五分）

甲斐武田家から会津藩お留枝として伝えられ、武田氏末孫である惣角の代に至り世に広められた大東流は、北海道北見国において堀川幸道（免許皆伝）に伝授された。力を不要とするその妙術は一刀正伝無刀流五代宗家であった石田和外氏の一目置くところとなり、幸道の代理教授を務めていた伊藤善吉に後世のため技を残し置くよう言を託しており、以来北見の地で連綿と伝えられている。

演武者

伊藤 隆史

谷島 哲男

奥田 幸恵

嶋崎 健太

六、甲源 一刀流

（十五分）

流祖は逸見太四郎義年、桜井五亮長政より溝口派一刀流の印可を受け「甲源一刀流」を称した。安永年間に義年が開いた「耀武館」道場は現在も埼玉県秩父で第十世逸見義清宗家により継承されている。太刀組は「五天」「陳頻組」「残身組」「刃切合組」の二十本からなり、切落し・突き・摺上げなど溝口派の特徴を色濃く残している。

演武者

森川 英雄

牧野 敏幸

佐藤 弘承

長谷川英信流居合

抜刀始祖、林崎甚助より七代の長谷川英信により腰刀での抜刀法に改革され世に英信流と呼ばれた。座技・立技の抜刀法の他、太刀打之位・詰合之位・小太刀之位等、新影流を取り入れたとされる居合組太刀がある。

演武者

中西 啓太

塩田 絃子

神道無念流立居合

流祖は福井喜平で新神影一円流より飯綱権現に参籠神託を得て神道無念流を興した。この無念流門から戸賀崎熊太郎・岡田十松・渡辺嶺山・桂小五郎・北海道に縁りのある新選組の永倉新八らが出ている。幕末に至り齋藤弥九郎から根岸新五郎・中山博道へ受継がれ瀬上正治より長谷川吉次へ伝えられ現在に至っている。組太刀に五加五行・非打等があるが立居合のみ伝っている。

演武者

牧野 敏幸

四、古法諸新流武術（宗家 諸井正毅）

（二十分）

当流は、二天一流剣術ほか古武道各流派の極意を習得した宗家が、一つの理論・哲学のもとに集約・体系化した日本の伝統武術である。当流では形骸化された型ではない本来の武術の技の継承を行ってゐる。今回の奉納では、二天一流剣術（流祖 宮本武蔵）の二刀使い、一刀使い、小太刀使い、柳生十兵衛三厳が考案した杖術（十兵衛使い）、諸新流の極意の一つである無刀使い、および気楽流柔術（流祖 飯塚臥龍齋）の技を演武する。

(一) 二刀使い

表の次第（打太刀）高田 淳 （仕太刀）大館 智志
奥の次第（打太刀）水本 秀明 （仕太刀）諸井 正毅

(二) 一刀使い

（打太刀）高田 淳 （仕太刀）幅田 雅喜

(三) 小太刀使い

（打太刀）諸井 正毅 （仕太刀）水本 秀明

(四) 無刀使い（真剣白刃取り）・二人相手に

（打太刀）大館 智志 （無刀）諸井 正毅

（〃）水本 秀明

(五) 杖術（柳生十兵衛使い）①即死一本 ②吹笛勢

（打太刀）高田 淳 （杖）大館 智志
（打太刀）大館 正敬 （杖）水本 秀明

(六) 棒術（六尺棒）

① 棒と棒（打ち）大館 智志 （捕り）水本 秀明
② 太刀と棒（受け）高田 淳 （捕り）幅田 雅喜

（〃）水本 秀明 （〃）大館 智志

(七) 柔術

諸井 正毅 大館 智志
水本 秀明 高田 淳
幅田 雅喜 大館 正敬

七、神道夢想流杖術（流祖 夢想権之助勝吉）

（十五分）

香取神道流を学んだ夢想権之助が福岡宝満山で修行を重ね、四尺二寸の丸木の杖術を編み出し黒田藩に伝えられてきた武術。

演武者 安丸 進 古野 耕一

伊藤 稔 上出 都

野澤 草太 小倉 優子

前田 敏行

一角流 十手術（流祖 神道夢想流杖術三代目松崎全右衛門重勝

黒田藩において男業武術として伝えられ中和流短剣術の短剣を十手に持ち替え一角流十手術として伝承されています。

演武者 安丸 進 伊藤 稔

神道流 剣術

神道夢想流杖術を創始した夢想権之助勝吉は鹿島新当流の桜井大隅守吉勝の門人であり、桜井大隅守は元々飯篠長威齋の香取神道流の系統を修行しておりました。神道夢想流杖術を学ぶ者に神道流剣術として十二本の技が伝承されています。

演武者 古野 耕一 野澤 草太

各流派連絡先並びに代表者

○古法諸新流武術 〇五五一―九五七一

(北海道古武道協会理事長) 諸井正毅

○天神真揚流柔術 〇八三三―三二二六

○正木流万力鎖術(柴田孝一伝)

○一刀流 劍術 田所幸七

(北海道古武道協会事務長)

○長谷川英信流居合 〇七七四―一八七一

○甲源一刀流 森川英雄

○神道無念流立居合

○神道夢想流杖道他 〇八二一―七一五六

安丸進

○大東流合気武道 〇六八一―三三二〇

木村芳信

○大東流合気柔術(堀川幸道伝)

〇二一一―五八八五

(伊藤隆史 代理)

谷島哲男

○無外流居合兵道(北海道無外会)

〇〇九〇―一八五五―二一〇七

高橋宏明

北海道古武道協会

事務局



札幌市豊平区豊平二条八丁目

一―二五―九〇三

電話・FAX 八三三―二二一六番